

第 **136** 期第2四半期  
株主のみなさまへ

平成30年 4 月 1 日から  
平成30年 9 月30日まで



ISO9001 認証  
JQA-1050



ISO14001 認証  
JQA-EM0365

大阪府東大阪市四条町12番8号

株式会社 ロブテックス



## ● 日常の生活に根ざした工具の文化を育てたい

欧米ではクリスマスや誕生日に、  
父親や彼氏に工具セットを贈る習慣があります。  
モノづくり大国“日本”にもそういった文化を根づかせたい。

2018年 JAPAN DIY HOMECENTER SHOW

(2018年8月23～25日開催)



2018年 JAPAN DIY HOMECENTER SHOW開催中に来場のお客様と弊社スタッフとで総本数12,000本以上のリベットを使用し、ヨハネス・フェルメールの代表作の一つ「真珠の耳飾りの少女」を描きました。

ご紹介します。

## ● 戦略的広報活動によるブランド力、商品情報の発信及び発信力の強化

NASCARドライバーの古賀琢麻選手とスポンサー契約を結び、その活動を応援しております。



**NASCAR**



一般社団法人大阪府経営合理化協会が主催する「第1回 学生に教えた「働きがいのある企業大賞」」の大賞を受賞

## ●より良い商品をお届けしたい

J-CRAFTシリーズ 信頼の日本品質  
ペンチ・ニッパー・ラジオペンチ



「つかむ」「曲げる」「切る」といった  
基本機能を追求した信頼の日本製工具。  
長年培った職人の技術による優れた品質と  
使いやすさで作業効率を高めます。



スパイラルステージドリル  
穴あけスピードは従来品の約5倍



エビ万力  
デザイナー新リニューアル



N17D  
簡単・確実に締結。  
使いやすくリニューアル

136期上期  
新商品  
キャンペーン



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日頃から温かいご支援をた  
まわり厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第136期第2四半期決算の報告をお届け  
いたしますので、ご高覧たまわりますようお願い  
申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、堅調  
な企業業績や雇用情勢により、緩やかな回復基調と  
なっておりますものの、労働力不足による人件費上  
昇に加え、相次ぐ大型台風等の自然災害影響や米中  
間を中心とした保護主義的な通商政策による貿易摩  
擦の強まりなどの懸念材料もあり、景気の先行きに  
ついては不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは経営スロー  
ガンを「目標達成への執念、計画的考働の徹底、知  
的好奇心の追求」と定め、経営目標達成に向け、社  
員一人ひとりが何としても課せられた目標を達成し  
ようとする熱意を持ち、その達成のため、日々変化  
している世の中のあらゆるものごとに興味を持ち、  
様々な情報に触れ、そこから獲得した知識を材料と  
して、自ら考えて行動する姿勢を醸成すべく努力し  
てまいりました。また2018年5月に、より機能的な  
組織体制とすべく、開発部を機能別に商品企画、技  
術開発、購買部門に分割し、営業推進部にお客様情  
報の集約を目的として受注・アフターサービス部門  
を統合し、営業部門に取引先別販売チャンネルへの適  
合を目的に機工営業、HC営業、法人営業部門を設置  
しました。そして、金属製品事業では将来を見据え  
た新規生産設備等を、レジャー事業ではサービス向  
上に向けた設備投資を計画的に進めてまいりました。

その結果、当初予想の想定内で推移しております  
ものの、売上高は前年同期比0.6%減の30億1千8百  
万円（前年同期30億3千8百万円）となり、利益面  
では設備投資関連費用の発生や人件費増加影響によ  
り、営業利益で同20.6%減の2億2千7百万円（同2  
億8千6百万円）、経常利益で同20.9%減の2億4百  
万円（同2億5千9百万円）の親会社株主に帰属する  
四半期純利益で同27.5%減の1億2千万円（同1億6  
千5百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

### <金属製品事業>

国内売上は前年同期に比べ増加し、ハンドツール  
部門は、新商品投入や拡販努力が奏効した万力類及  
び工具セットの増加はありましたものの、前年同期  
に伸長したOEM製品の減少を主因に微減となりまし  
た。ファスニング部門は、前年同期に好調であった

住宅関連向けのファスニングツールの減少がありま  
したが、コードレスリベッター、超小型オートリベ  
ットフィーダー、工業用ファスナーなどが堅調な販  
売となり増加しました。切削工具部門については価  
格競争の厳しさは継続しておりますが、拡販努力に  
より増加しました。

海外売上については前年同期に比べ減少しており、  
ハンドツール部門は主力販売国の韓国経済の減速影  
響を受け、同国向けの電設工具やプライヤ類の売上  
が低調となったことを主因に減少しました。ファス  
ニング部門は一部地域への売上の伸長や回復が見ら  
れましたものの、米国における流通在庫増加影響に  
より、エアリベッター等のファスニングツールが  
減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期  
比0.7%減の29億2百万円（前年同期29億2千2百万  
円）となりました。利益面では営業利益が新規設備  
関連費用や人件費増により、前年同期比21.1%減の1  
億8千1百万円（同2億3千万円）となりました。

### <レジャー事業>

ゴルフ練習場設備における駐車場の整備・拡張な  
ど、前期より計画的に実施しているサービス向上に  
向けた設備投資や集客施策により入場者数が増加傾  
向にて堅調に推移しておりましたが、記録的な猛暑  
に加えて、大阪北部地震の影響や大型台風による被  
害・営業停止もあって、売上高は前年同期比横這い  
の1億1千5百万円（前年同期1億1千5百万円）  
に止まり、営業利益は、設備投資関連費用の発生に  
より、同18.5%減の4千5百万円（同5千6百万円）  
となりました。

株主のみなさまには、変わらぬご支援、ご指導を  
たまわりますようお願い申し上げます。

平成30年12月

取締役社長

地引俊為



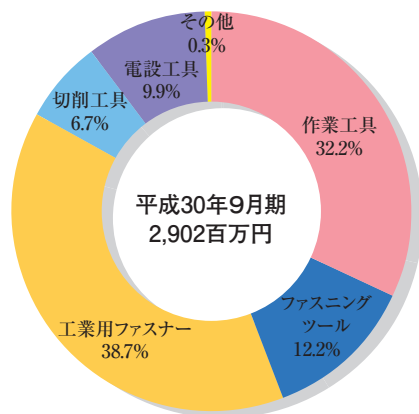
# 連結業績の推移

## ● 営業成績

区 分	第132期 (平成27年3月期)	第133期 (平成28年3月期)	第134期 (平成29年3月期)	第135期 (平成30年3月期)	第136期 通期予想 (第2四半期)
売上高 (百万円)	5,572 (2,671)	5,910 (2,828)	5,762 (2,780)	6,162 (3,038)	6,220 (3,018)
経常利益 (百万円)	511 (209)	449 (223)	456 (192)	497 (259)	360 (204)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	306 (125)	275 (137)	351 (122)	310 (165)	230 (120)
1株当たり 当期純利益 (円)	325.92 (133.62)	293.19 (146.08)	374.56 (130.56)	332.13 (177.05)	246.27 (128.67)

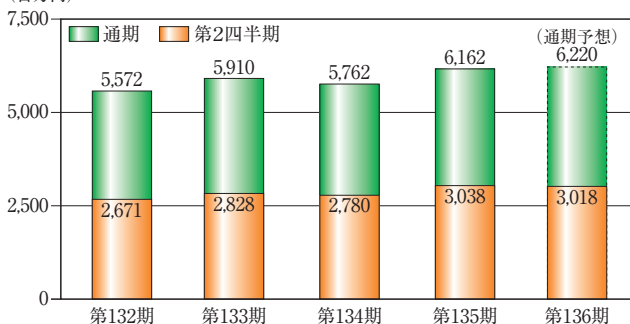
(注) ( ) は第2四半期の数値であります。

## ● 金属製品事業における品種別の売上高構成比



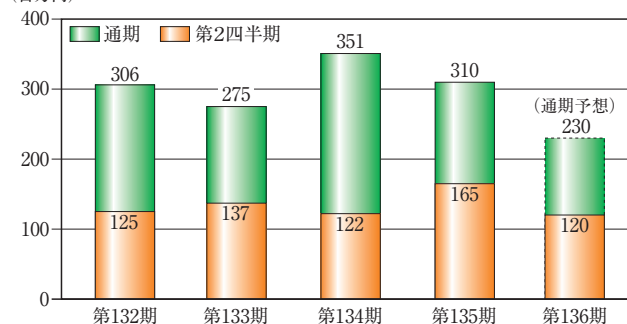
## ● 売上高

(百万円)



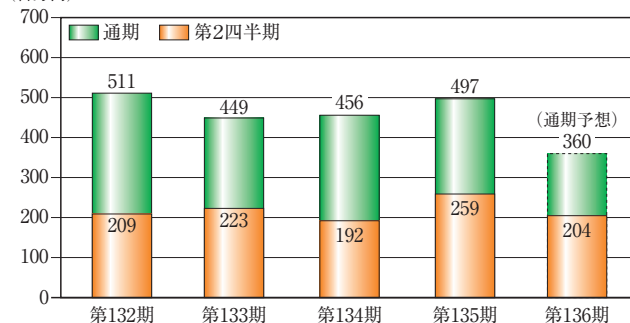
## ● 親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



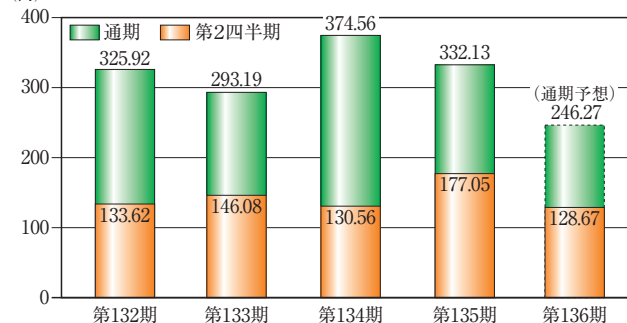
## ● 経常利益

(百万円)



## ● 1株当たり当期純利益

(円)



(注) 平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。第132期の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

# 四半期連結財務諸表

## ● 四半期連結貸借対照表

平成30年9月30日現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	5,244,735	流動負債	2,635,335
現金及び預金	2,293,251	買掛金	255,153
受取手形及び売掛金	1,197,485	短期借入金	1,681,713
電子記録債権	116,654	1年内償還予定の社債	60,000
商品及び製品	1,044,752	未払法人税等	59,396
仕掛品	302,707	その他	579,071
原材料及び貯蔵品	216,731	固定負債	1,222,593
その他	78,267	社債	180,000
貸倒引当金	△ 5,115	長期借入金	804,579
固定資産	2,728,203	退職給付に係る負債	63,231
有形固定資産	1,934,130	その他	174,783
建物	654,613	負債合計	3,857,929
土地	738,508	(純資産の部)	
その他	541,009	株主資本	3,666,899
無形固定資産	30,831	資本金	960,000
投資その他の資産	763,241	資本剰余金	491,045
資産合計	7,972,939	利益剰余金	2,379,816
		自己株式	△ 163,962
		その他の包括利益累計額	269,257
		その他有価証券評価差額金	269,257
		非支配株主持分	178,853
		純資産合計	4,115,010
		負債純資産合計	7,972,939

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

## ● 四半期連結損益計算書

平成30年4月1日から  
平成30年9月30日まで

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		3,018,852
売上原価		1,925,587
売上総利益		1,093,265
販売費及び一般管理費		865,598
営業利益		227,666
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	7,706	
受取家賃	4,724	
為替差益	4,239	
その他	2,708	19,379
営業外費用		
支払利息	17,407	
売上割引	23,784	
その他	932	42,125
経常利益		204,920
税金等調整前四半期純利益		204,920
法人税等		75,104
四半期純利益		129,815
非支配株主に帰属する四半期純利益		9,642
親会社株主に帰属する四半期純利益		120,173

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

## ● 会社の概要 (平成30年9月30日現在)

設立 大正12年8月12日  
資本金 9億6千万円  
発行済株式総数 1,000,000株  
本店所在地 東大阪市四条町12番8号  
従業員数 103名(連結193名)  
製造販売品目 作業工具  
ファスニングツール  
電設工具  
切削工具  
工業用ファスナー

## 事業所

本社 / 東大阪市四条町12番8号 (〒579-8053)  
大阪営業所 / 東大阪市四条町12番8号 (〒579-8053)  
東京営業所 / 東京都板橋区高島平2丁目6番4号 (〒175-0082)  
名古屋営業所 / 名古屋市北区八竜町1丁目40番地 (〒462-0805)  
福岡営業所 / 福岡市博多区山王1丁目7番9号 (〒812-0015)

## 子会社

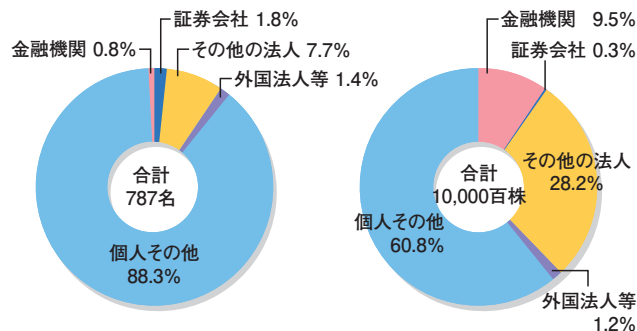
株式会社ロブテックスファスニングシステム  
鳥取ロブスターツール株式会社  
株式会社ロブエース

## ● 役員 (平成30年9月30日現在)

取締役社長 (代表取締役)	地引俊為
取締役	豊島尚規
取締役	山口正光
取締役 (常勤監査等委員)	林邦男
取締役 (監査等委員)	藤本昇
取締役 (監査等委員)	遠藤美智子

## ● 株式の状況 (平成30年9月30日現在)

発行可能株式総数 40,000百株  
発行済株式総数 10,000百株  
株主総数 787名  
所有者別株主構成比



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問合せ先 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料) [受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)] ホームページ <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="http://www.lobtex.co.jp/lobtex/ir/">http://www.lobtex.co.jp/lobtex/ir/</a> (ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)